

# 年間指導計画案と学年のポイント

**3年** 合計 76時間  
予備時数 14時間



		単元	配当時数 (予備時数)
前期 ↓ 43	1学期 ↓ 30	●理科の世界をぼうけんしよう	(1)
		①しぜんのかんさつ	4
		②植物を育てよう 2-1 たねをまこう	3
		③かげと太陽 2-2 ぐんぐんのびろ	3
		④チョウを育てよう	8 (1)
	2学期 ↓ 38	2-3 花がさいた	1
		●わたしの自由研究	(1)
		⑤こん虫を調べよう	3 (2)
		2-4 実ができるころ	2
		⑥音を調べよう	5 (1)
		⑦光を調べよう	6 (1)
後期 ↓ 47	3学期 ↓ 22	⑧風のはたらき	5
		⑨ゴムのはたらき	5
		⑩明かりをつけよう	7 (1)
	3学期 ↓ 22	⑪じしゃくのひみつ	10 (2)
		⑫ものの重さを調べよう	6 (2)
		●科学者を知ろう	(1)
		●理科の世界をふりかえろう	(1)

## 3年のポイント

- 「1 しぜんのかんさつ」では、伝え合いをもとに理科ではどのような視点で観察や記録をすればよいか、子供自身が考えるようにしています。また、発表の場面でも様々な例を示し、子供が選べるようにしました。
- 「風のはたらき」では風車で定性的な実験、「ゴムのはたらき」ではゴムカーを使った定量的な実験を行い、データを生かした活用場面を設け、段階的な学習を行います。
- 電気学習を生かし、磁石の学習につなげ予想をしたり、学習を生かしたものづくりを行うなど、学びをつなげ生かす展開にしています。

**4年** 合計 89時間  
予備時数 16時間



		単元	配当時数 (予備時数)
前期 ↓ 46	1学期 ↓ 38	●理科の世界をぼうけんしよう	(1)
		①季節と生き物 1-1 あたたかくなって	5
		②1日の気温と天気	5
		③空気と水	7
		④電気のはたらき	7 (1)
	2学期 ↓ 41	⑤雨水の流れ	5
		1-2 暑い季節	4
		★夏の星	2
		●わたしの自由研究	(1)
		⑥月や星の動き	7 (1)
		1-3 すずしくなると	5 (1)
後期 ↓ 59	3学期 ↓ 26	⑦自然の中の水	5 (1)
		⑧水の3つのすがた	8 (2)
		⑨ものの体積と温度	9 (2)
	3学期 ↓ 26	★冬の星	3
		●科学者を知ろう	(1)
		1-4 寒さの中でも	4 (2)
		⑩ものの温まり方	8 (1)
3学期 ↓ 26	⑪人の体のつくりと運動	5 (1)	
	●理科の世界をふりかえろう	(1)	

## 4年のポイント

- 「雨水の流れ」では、水の溜まりやすい場所について、学習したことやハザードマップなどの資料を通じて、通学路などの身近な場所を見直す活動を設けています。
- 地域特性に合わせて観察ができるよう、「夏の星」「月や星の動き」「冬の星」と単元を配置しています。
- 「自然の中の水」では、日向と日陰での自然蒸発を扱います。この学びは、「水の3つのすがた」で水を沸騰させるときに出てくる泡が何かを考えるときの根拠となります。
- 調べ学習の多い「人の体のつくりと運動」は、授業の時間調整に使っていただけるよう、最終単元に配置しています。

**5年** 合計 89時間  
予備時数 16時間



		単元	配当時数 (予備時数)
前期 ↓ 46	1学期 ↓ 38	●理科の世界をぼうけんしよう	(1)
		①ふりこの運動	8 (2)
		②種子の発芽と成長	13 (1)
		③魚のたんじょう	8 (1)
		●台風の接近	3
	2学期 ↓ 41	●わたしの自由研究	(1)
		④実や種子のでき方	7 (1)
		⑤雲と天気の変化	7 (1)
		⑥流れる水のはたらき	8
		●川と災害	3 (1)
		⑦電流と電磁石	11 (2)
後期 ↓ 59	3学期 ↓ 26	●冬から春へ	1 (1)
		⑧もののとけ方	13 (1)
	3学期 ↓ 26	●科学者を知ろう	(1)
		⑨人のたんじょう	7 (1)
3学期 ↓ 26	●理科の世界をふりかえろう	(1)	

## 5年のポイント

- 5年で大切な考え方である「条件制御」については、まず「1 ふりこの運動」で着目し、何度も実験することができるようになっています。その経験をもとに、生物単元「2 種子の発芽と成長」やそれ以降の学習でも、条件を意識した実験の計画を立てることができるよう、単元配列に配慮しました。
- 「雲と天気の変化」は、秋に配置し、多様な雲を観察することができる時期に学習できるように配慮しています。
- 「流れる水のはたらき」の後に「川と災害」を配置し、身の回りの環境を学んだこととつなげて考え、防災意識につなげられるようにしました。
- 調べ学習の多い「人のたんじょう」は、授業の時間調整に使っていただけるよう、また生命のつながりについて総合して考えられるよう、最終単元に配置しています。

**6年** 合計 90時間  
予備時数 15時間



		単元	配当時数 (予備時数)
前期 ↓ 46	1学期 ↓ 38	●理科の世界をぼうけんしよう	(1)
		●環境と私たちの暮らし	1
		①ものの燃え方と空気	10 (1)
		②人や動物の体	7 (1)
		③植物の養分と水	7 (1)
	2学期 ↓ 41	④生物の暮らしと環境	7 (1)
		●わたしの自由研究	(1)
		⑤てこのしくみとはたらき	8
		⑥月の形と太陽	8 (1)
		⑦大地のつくりと変化	7 (1)
		●火山の噴火と地震	3 (1)
後期 ↓ 59	3学期 ↓ 26	⑧水溶液の性質	11 (1)
		⑨電気と私たちの生活	13 (2)
		⑩人と環境	8 (1)
	3学期 ↓ 26	●科学者を知ろう	(1)
		●理科の世界をふりかえろう	(1)

## 6年のポイント

- 6年全体の学びを通して、環境について考えられるよう、小単元「環境と私たちの暮らし」を学年冒頭に新設しました。これまで学んできたこと、そして6年で学ぶ様々なことを総合して、最終単元「人と環境」で環境について自分ごととして多面的に考える見通しをもてるようにしました。
- 「ものの燃え方と空気」では、ものの燃え方について学びます。実際は見えない気体(酸素・窒素・二酸化炭素など)を粒で表現して予想や考察を可視化し、子供同士の話し合いをしやすいようにしました。
- 「電気と私たちの生活」では、無料のプログラミングソフトなどを掲載しています。何を使って学ぶか選択し、プログラミングについて考えることができます。